

レファレンス だより

2010年2月号
No. 87

福岡市総合図書館
図書利用課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2009年11月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
128	2,275	661	615	348
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
513	162	938	1,621	7,261

（開館日 24日 一日平均 302件）



今月のレファレンス徹底解説！

登山で遭難した際の、救助費用や保険について知りたい。また、年間の山岳遭難者数は？

■登山や法律関係の本、雑誌を調べる。

『登山の法律学』（溝手 康史／著 東京新聞出版局 2007年）1階ポ64 786.1/3

「搜索費用の負担義務」「山岳事故と山岳保険」の事例をもとに説明されている。一般に、警察・消防機関の搜索、救助費用は無料。民間組織での搜索費用は地域等によって差があり、搜索隊員1人1日の搜索費は、夏期1万5千円～3万円、冬季2万5千円～5万円。また、民間ヘリでの搜索は諸経費を入れると、一時間あたり50万～70万くらいとされている。山岳保険に加入している場合、搜索救助にかかった費用は保険会社から遭難として認定された場合のみ支払われる。

『アクシデント&事故こんなときどうなる』（上野 勝／監修 日本文芸社 2003年）閉架書庫 320.4/7

「山岳遭難・・・救助隊一人当たりの手当てはいくら？」の項目に対する回答に「季節によって異なりますが、1万5千円から5万円程度」で、総額40万円から300万円以上の費用がかかる事例解説あり。

『山と溪谷 2007年2月号』（山と溪谷社 閉架書庫）

山岳保険、正式名称「遭難搜索救助費用担保特約付き普通傷害保険」について記載あり。山岳保険の種類や保険料、支払われる保険金の内容や、問い合わせ先などが詳しく紹介されている。

■白書で、登山者数や山岳遭難者数を調べる

『レジャー白書 2009』（日本生産性本部／編集 日本生産性本部 2009年）2階C3 R365.7/4

「余暇活動への参加・消費の実態（平成20年）」の観光・行楽部門の中に、登山の参加人口590万人との記載あり。

『警察白書 平成21年版』（警察庁／編 ぎょうせい 2009年）2階C16 R317.7/4

山岳遭難者数はでていない。機動隊の任務として「遭難者の搜索及び救助」が記載されているのみ。

■再度、インターネットで山岳遭難者数を調べる

「警察庁」>サイト内検索>[h20_sangakusounan.pdf](http://www.npa.go.jp/) 【<http://www.npa.go.jp/>】

「山岳遭難者数」をキーワードにサイト内を検索。「平成20年度における山岳遭難の概況」という文書に「平成20年中の山岳遭難は、○発生件数 1,631件（前年対比+147件）○遭難者数 1,933人（前年対比+125人）であり、昭和36年以降、過去最高を示した。」とある。

■新聞記事で、山岳遭難費用についての記事を探してみる

朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱ」（※2階RC1カウンターでの申込みで、閲覧可能です）

「北アルプス抱える県警、夏山も緊張、遭難事故は増加傾向 ヘリ、手いっぱいも／富山県」（2009年8月10日朝刊）の見出し記事の中に、警察による救助の実態や、民間の搜索費用、保険について記載あり。



その他にもこんな質問がありました

Q： 江戸時代の飛脚や飛脚箱について、図や写真などがのっている資料はあるか。

■郵便関連

『日本郵便の歴史』（橋本 輝夫／編・著 北都 1988年）2階 D21 693.21/ハ

飛脚の絵のほか、飛脚が使ったまくら、絵符など道具の写真もある。

■日本史関連

『江戸時代館』（小学館 2002年）2階 B11 210.5/七

飛脚制度の発達について解説するとともに、飛脚の絵などが載っている。

『道具で見る江戸時代』（高橋 幹夫／著 芙蓉書房出版 1998年）2階 B11 210.5/夕

飛脚について、簡単な説明あり。また、飛脚の絵や飛脚札、飛脚の胸当ての写真などが載っている。

『F.ベアト写真集2』（F.ベアト／[写真] 横浜開港資料館／編 明石書店 2006年）2階 B11 210.58/ハ

飛脚の写真が載っているが、飛脚箱は担いでおらず、先端に書状を挟んだ竹を持っている。

■風俗・習俗関連

『江戸商売図絵』（三谷 一馬／著 三樹書房 1979年）2階 D7 R384/ミ

七里飛脚、三度飛脚などの絵が載っており、飛脚箱を担いでいる絵もある。絵についての説明あり。

Q： 食物アレルギーの統計や現在の状況をしりたい。過去の統計も合わせて知りたい。

継続したアレルギーに関する統計はみつけれず。

■保健関連

『保健福祉動向調査 平成15年 アレルギー様症状』（厚生統計協会 2004年）2階 C16 R498.05/ホ

調査概要と結果概要、統計表がある。参考として平成3年保健福祉動向調査表も掲載されている。

■食生活関連

『食の安全と健康意識データ集 2009』（三冬社 2008年）2階 C3 R498.54/夕/ビヅ 祝2

「アレルギー疾患の有病率」「都道府県別食物アレルギー疾患の有病率」などのパーセンテージあり。

『子どもの食生活データ総覧 2006年版』（生活情報センター 2006年）2階 C3 R498.5/コ/ビヅ 祝2

「赤ちゃんのアレルギー」「食物アレルギー」に関するアンケートの結果が掲載されている。

■教育関連

『データからみる日本の教育 2008』（日経印刷 2009年）2階 C16 R370.59/デ

「食物アレルギーがある児童生徒の割合の推移」のグラフあり。

■インターネット

「文部科学省ホームページ」【<http://www.mext.go.jp/>】

「アレルギー」をキーワードに、サイト内を検索すると、「アレルギー疾患に関する調査研究報告書」という文書あり。平成19年4月11日付けの報告書を見ることができる。

Q： 長寿を祝う歌とされる、賀歌（が）について知りたい。

■辞典関連

『日本国語大辞典 第3巻』（小学館国語辞典編集部／編集 小学館 2001年）2階 C1 R813.1/ニ

「賀歌」を引くと、「賀の歌とおなじ」とあり。引きなおすと「賀」とは祝賀、特に長寿の祝いをいうことが多く、「賀の歌」とは、賀の祝いに際して、長寿を寿（ことほ）いで詠んだ歌、とある。

『日本風俗史事典』（日本風俗史学会／編 弘文堂 1980年）2階 D7 R382.1/ニ

「賀の祝」を引くと、算賀すなわち長寿を祝う意味に用いられ、中国の唐末から宋代には長寿を祝う詩を贈ることが流行、日本では平安時代に長寿者が集まり、詩作し祝うことが貴族の間で流行した。

■文学関連

『日本古典文学全集7』（小学館 1977年）2階 B22 918/ニ

紀貫之や在原業平などが詠んだ賀歌を、22首ほど紹介している。

『日本古典文学大系69』（岩波書店 1980年）2階 B22 918/ニ

『懐風藻』の中に、「五十八の年を賀（ほ）く」、「五十八の年を賀く宴」の歌が2首あり。

『源氏物語の新研究』（坂本 共展／編 久下 裕利／編 新典社 2005年）2階 B21 913.36/ガ

算賀の漢詩と和歌について『懐風藻』のほかに、奈良時代から平安初期までの算賀の記録を漢詩、和歌と共に紹介している。

Q： 日本の自動販売機について、設置台数や年間売上高、消費電力キロワット数が知りたい。

■統計資料

『機械統計年報 平成 20 年』（経済産業省経済産業政策局調査統計部／編 2009 年）2 階 C16 R530.9/キ
機械器具の生産・出荷・在庫統計に関する、平成 20 年の調査結果をとりまとめた年報で、自動販売機
の生産台数や出荷台数が載っている。

『食糧年鑑 2008 年度版[1]』（日本食糧新聞社 2008 年）2 階 C3 R588.05/ツ/ビヅ 初 2
日本自動販売機工業会がまとめた 2007 年末現在の自販機の普及台数や、年間売上高が載っている。

■インターネット

「一般社団法人 日本自動販売機工業会」>自販機データ 【<http://www.jvma.or.jp/>】
自販機普及台数、および年間自販金額が機種ごとに載っている。

「YOMIURI ONLINE」（読売新聞） 【<http://www.yomiuri.co.jp/>】

「自販機」「消費電力」をキーワードにサイト内検索。「自販機 人近づくとも明るく」（2009 年 4 月
20 日）の見出し記事の中に、平均的な飲料自販機の消費電力量は年間 1600KW 時と記載あり。

Q： クジラを使った料理と、鯨肉の部位について知りたい。

■食材・料理関連

『食材図典 2』（小学館 2001 年）2 階 E2 R498.52/ツ

「鯨肉加工品」の項で、くじらベーコンなど 6 種類の料理を挙げている。写真と簡単な解説あり。

『徳家秘伝鯨料理の本』（大西 睦子／著 講談社 1995 年）閉架書庫 596.3/才

鯨料理店がメニューとして出した実際の鯨料理を、カラー写真で多数掲載。鯨の各部位を、料理素材と
して特徴を説明するほか、その部位に合う料理や下ごしらえの仕方、調理法を英文併記で詳しく紹介。

■漁業関連

『街にクジラがいた風景』（菊地 慶一／著 寿郎社 2004 年）1 階ポ 76 664.9/キ

クジラ料理の作り方が 10 種紹介されている。そのほかに鯨肉の解体作業の白黒写真と、分別された
17 部分について簡単な解説がある。

■雑誌

『サライ 2001 年 3 月 15 日号』（小学館）閉架書庫

特集記事「鯨の力をいただく」に、日本国内で鯨料理を食べられる店の紹介や、様々な鯨料理の写真が
ある。「鯨汁」という料理には、詳しい作り方が記載されている。

Q： 日本の葬儀マナーを、外国語で解かりやすく説明した本を見たい。

(国際)

■英語書

『英文 日本絵とき事典 17: Illustrated Japanese family & culture』

(Japan Travel Bureau 1994 年) 2 階国際 A20 F100ENG/302.1/IL

仏式の葬式について、通夜から葬儀、法要までをカラー図解で詳細に説明している。死装束、火葬場での
儀礼や四十九日・一周忌・三回忌などの法要、さらに彼岸などの墓参の方法についても解説あり。

『英語で読む日本のマナー: The Beautiful Etiquette of Japan』

(JAL アカデミー／監修 成美堂出版 2008 年) 2 階国際 A20 F100ENG/385.9/BE

葬儀全般について、カラー図解で紹介している。特に香典に関しては詳しく、不祝儀袋の書き方も各宗
派別に紹介。また葬儀でのマナー違反例も紹介あり。日本語併記。

『英語で教える日本の暮らしのマナーとコツ: The Rules of Living in Japan』(学研 2008 年)

2 階国際 A20 F100ENG/385.9/RU

葬儀の流れ、喪服の常識、香典・通夜・葬儀のマナーを簡単な図解で紹介あり。日本語併記。

■韓国語書

『韓国語で教える日本の暮らしのマナーとコツ: 일본에서의 불과 매너』(学研 2009 年)

2 階国際 A20 F100KOR/385.9/IL

上記の『英語で教える日本の暮らしのマナーとコツ』(学研)の韓国語版。内容は同じ。日本語併記。

※ 棚番号は総合図書館のものです。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『業種別審査事典 第11次』全9巻

(金融財政事情研究会／編 金融財政事情研究会 2008年) 2階C3 R338.55/キ/ヒジ 叔1

全国の金融機関本支店での融資・審査および営業推進に役立つよう編集された業種別取引事典です。業界や研究諸団体等について調べたい時や、産業や商品について何か手がかりがほしい時に、産業・商品別事典としても利用できます。ビジネスコーナーでよく使われる資料ですが、進路決定や就職活動などこれから働くことを考える若い世代の人にとっても、業界を知る資料として活用できます。

使ってみました！⇒動物が好きなのでペットに関わる仕事に興味がある。“ペット産業”を調べてみる！
■目次で分野を知る・・・第6巻の目次から「ペットショップ、ペットフード、ペット美容学校、ペット美容院、ペットホテル、補助犬訓練所、犬の躰教室、ペットブリーダー、ペットパーク、動物用医療機器製造・販売業、ペット病院、ペット霊園、産業獣医、昆虫養殖・販売」と多様な職種がわかります。
■豊富なデータで業界をつかむ・・・p613「ペットホテル」を見ると、業種の定義や沿革、特徴、市場規模、需要動向、課題と展望、サービスの内容などが、わかりやすく書かれています。また、「ペットホテル・シッターの全国分布状況」、「ペットホテルの料金表(例)」、「ペットシッター基本料金」など統計データも豊富です。「改正動物管理法のポイント」など関係法の情報が載っているのも便利。最後のページには必ず業界団体(住所、電話、FAX、URL)紹介があります。インターネットでホームページを見たり直接問合せたり、上手にご活用ください！

！！ / 図書館活用術 ～新聞について。その①全国の新聞がスラリ！



総合図書館は、全国各地の主要新聞を所蔵しています。九州各県の代表紙をはじめ、その他日本各地方の代表紙8紙を収集しています。通勤族が多い福岡市の利用者にとって、ふるさとのニュースを馴染みの紙面で眺められる新聞コーナーは安らぎの場。福岡が地元という利用者にとっては、様々な地域の新聞から刺激や発見を得られる場として活用されています。

<全国紙・地方紙> (現在、継続して収集しているもの)

*新しい新聞(約2週間分)は1階新聞コーナーに、それより以前の新聞や縮刷版は2階や書庫にあります。マイクロフィルムの閲覧は、2階国際カウンターにて受付しています。

*保存年限や所蔵開始年、状態(原紙、縮刷版、マイクロフィルム)、配架場所などは新聞や発行日などによって違います。詳細はカウンターにてお尋ね下さい。(一部欠号もございます。ご了承ください。)

- (永年保存) **毎日新聞**(縮刷版あり)、**西日本新聞**、**糸島新聞**(以上3紙マイクロフィルムあり)
- (5年保存) **読売新聞**、**日本経済新聞**、**朝日新聞**(以上3紙縮刷版あり。福岡版の原紙のみ永年保存)、**産経新聞**、**朝日新聞全地方版**(H21.4月廃刊・地方版のうち福岡版は永年保存)
- (5年保存) **北海道新聞**、**河北新聞**、**東京新聞**、**中日新聞**、**北国新聞**、**京都新聞**、**神戸新聞**、**中国新聞**(以上地方紙8紙は2～3日遅れ)
- (10年保存) **佐賀新聞**、**長崎新聞**、**熊本日々新聞**、**琉球新聞**、**宮崎日々新聞**、**南日本新聞**、**大分合同新聞**(以上地方紙7紙は1～2日遅れ。**琉球新聞**、**南日本新聞**は、平成21年3月から朝刊のみ所蔵)

*今回ご紹介した新聞以外にもスポーツ新聞や各分野の専門紙、新聞記事の検索に便利なデータベースがあります。今後も随時ご紹介しますので、どうぞお楽しみに！



2月分館の特別整理期間(休館)のお知らせ

年に1度の特別整理期間。分館は、2つのグループに分かれて実施します。本の点検や書棚整理や移動など通常できない作業を行います。ご迷惑をおかけします。何卒ご了承下さい。

2月10日(水)～2月20日(土)・・・和臼、博多、城南、西

2月24日(水)～3月6日(土)・・・東、博多南、南、中央、早良

*総合図書館は、3月8日(月)～3月17日(水)を予定しております。